

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



絶景の下、「サバス」で整うサウナ愛好者

海岸で「整う」 至福のひと時

■サウナイベント「しずなみビーチサウナ」
サウナイベント「しずなみビーチサウナ」が3月20日と21日、静波海岸で開催されました。沿岸部活性化のために市と民間企業が連携して開催したもので、市内初登場となった「サバス」とは地域を走っていた路線バスを活用した移動式サウナ。サウナ愛好者は、熱した石にお茶をかける「ロウリュウ」や、絶好の眺めで整うことができる状況に、心身を整えていました。愛好者は「良い眺めの場所でサウナに入ることができて最高。また入りたい」と感想を話しました。

地域の安全安心と防災力強化へ

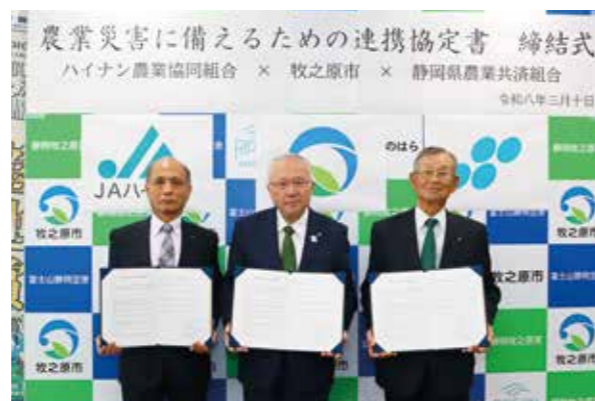
■牧之原消防署榛原出張所落成式及び管理委任書交付式
静岡市消防局牧之原消防署榛原出張所落成式及び管理委任書交付式が3月22日に、同所（細江区）で行われました。市の消防力の体制強化のため、市内全域を同署が管轄し、消防空白地域であった榛原地区に出張所を整備。4月1日から運用が始まり、市初となる指揮隊が1隊新設されました。同所配属職員を代表し、鈴木啓介所長は「市民の皆さまの期待に応えることができるよう、職員一丸となり全力で職務に当たる」と述べました。



出張所の落成を祝いテープカットをする関係者

いざという時の支援のために強固な連携を

■農業災害に備えるための連携協定書 締結式
市とハイナン農業協同組合、静岡県農業共済組合は3月10日、農業災害に備えるための連携協定書の締結式を行いました。これは、昨年9月の台風15号による竜巻等災害を契機に、今後起こりうる災害に対し、迅速に被災農業者への支援を行うことができるよう取り決めたもので、今回の3者協定締結は全国初。平常時から農業関係団体が連携を密に取り合い、農業保険などの備えの確認や、災害発生時の情報共有や被害調査協力などを行っていきます。



協定書を手にする協定者ら



細江小学校の屋上に避難する住民

暗闇での避難を想定して訓練を実施

■市夜間地震・津波避難訓練
夜間地震・津波避難訓練が東日本大震災の発災した日である3月11日の夜間に市内で行われ、約6,600人が参加しました。訓練は、震度7の巨大地震が発生し、大津波警報が発せられた想定で実施され、午後7時にサイレンと同報無線で避難を呼びかけました。参加者は懐中電灯で足元を照らしながら、各地区の津波避難施設などに避難。避難手段や経路の確認を行い、地区の実情に合わせた訓練を実施しました。



橋本教育長から表彰状を受け取る「市教育委員会表彰」受賞者

他の模範となる児童生徒を表彰

■市教育委員会表彰／山崎こども教育賞 表彰式
「市教育委員会表彰」と公益財団法人山崎こども教育振興財団主催の「山崎こども教育賞」の表彰式が3月7日、い〜らで行われました。市教育委員会表彰では、各分野で県大会1位、または同等以上の成績を収めた6人が受賞。さらに、全国大会などで好成績を収めた6人には「少年少女ノーベル賞」が贈られました。山崎こども教育賞では、あいさつや清掃など、日頃からの生活姿勢が他の児童生徒の模範であると評価された22人が受賞しました。

男女が健康で明るく過ごすために

■男女の生涯健康セミナー
「男女の生涯健康セミナー」が3月8日、い〜らで開催されました。県内の専門医2人が「女性の健康とプレコンセプションケア」と「男性の健康について～意外に知らない男性不妊や男性更年期～」をテーマに講演。座長を務めたあかほりクリニック（片浜区）の赤堀彰夫先生は、来場者からの質問にも回答し、「無理をせず簡単なことから始めてみましょう」と呼びかけました。会場には、健康・姿勢チェックコーナーやヨガ体験なども設置されました。



男女の健康について語るあかほりクリニックの赤堀先生

音楽で人や心をつないで元気に

■竜巻災害復興支援ライブ がんばろう!! 細江
細江区は3月1日、細江小学校体育館にて「竜巻災害復興支援ライブ がんばろう!! 細江」を開催しました。昨年9月の台風15号による竜巻等災害の復興支援をしようと同区が企画。同区住民が参加している音楽グループ3組が、バンドやオカリナで約20曲を披露すると、約150人の観客は腕を振り、拍手をして楽しんでいました。同区の山崎泰区長は「まだ道半ばであるが、音楽に元気をもらって人とのつながりを感じてほしい」と話しました。



8人組バンド「ロコモーション」による演奏



紙コップに入ったゲンジボタルの幼虫を放流する園児ら

ホタルいっぱい公園になあれ

■ゲンジボタルの幼虫放流体験
菅山保育園の年長児25人が3月4日、相良油田の里公園（菅山区）でゲンジボタルの幼虫の放流を体験しました。これは「まきっぱの会」（大沢稔代表）が、ゲンジボタルを増やしてにぎわいにつなげようと、地域の子供達を招いて行っているものです。同会から説明を聞いた園児は、紙コップに入った体長2～3センチの幼虫を公園内の川に放流。放流が終わると、園児は「元気に育つね」「また見に来るからね」と幼虫に声をかけていました。